



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第343号



我孫子市マスケットキャラクター
「手鞠沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「職業調べ」

布佐中学校3年生の2クラスで、Abi-キャリアの一環として職業調べの授業が展開されました。各自がタブレット端末等を駆使し、3時間にわたって調査した内容を発表します。

発表はパワーポイントを使い1人5分で行います。聴いている生徒は、ワークシートに発表の概要をメモし、発表終了後に質問をしたり、付箋に感想等を記入したりして発表者に渡します。

発表が終わると、興味をもった内容やよくわからなかったことについて発表者を中心にグループ内で話し合いが始まります。「初めて知った」「へー、そうなんだ」といった呟きがたくさん聞こえてきました。付箋に書かれている感想もとても温かく、「ピッタリだよ」「頑張れ」といった励ましの言葉が付箋いっぱい書かれ、発表者の表情も嬉しそうでした。とても和やかな雰囲気でお互いが学び合い、様々な職業について理解を深めていると思いました。

この後は、職業人講話も実施すると聞いています。ぜひ、キャリア学習におけるカリキュラムを学校として根付かせるとともに、布佐中学校ならではの地域と連携した「就職体験学習」が再開できたら…と願っています。



Abi-キャリア つながる 広がる 支え合う「視覚障害者ガイドヘルプをしよう」



並木小学校の4年生が「視覚障害者ガイドヘルプをしよう」という課題を設定した出前授業を実施しました。二人一組で視覚障害者とガイドヘルパーの役を交代しながら歩く体験をしました。

始めに、視覚障害者にも色々な見え方があることやそれぞれの困り感、ガイドヘルパーの役割と注意事項などについて説明を受けました。説明終了後、目隠しをして片手に白杖を持ち、もう片方の手をガイドヘルパーの肩に置き、数メートルを歩きました。児童からは「見えない」「怖い」という声が聞こえてきました。続いて足場が不安定なマットの上、2つの机に挟まれた狭い所、直角に曲がっている所、障害物を置いて段差を設けた所を通過していきます。ガイドヘルパー役の児童は、次第に「道が狭くなるよ」「9時の方向に曲がるよ」など声を掛けながら誘導する様子が見られました。

体験が終わると「思っていたよりも怖かった」「障害をもっている人の大変さがわかった」「サポーターも大変」などの意見が出されました。体験を通して「視覚障害者の困難」「ガイドヘルパーの責任と役割の大切さ」「大人に支援を求めることの必要性」について多くを学べた1時間であったと思います。

体験が終わると「思っていたよりも怖かった」「障害をもっている人の大変さがわかった」「サポーターも大変」などの意見が出されました。体験を通して「視覚障害者の困難」「ガイドヘルパーの責任と役割の大切さ」「大人に支援を求めることの必要性」について多くを学べた1時間であったと思います。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年10月30日

我孫子市小中一貫教育だより
第344号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア 町の安全を守る ～交通安全「自転車の乗り方」～

高野山小学校の第3学年で、Abi-キャリアの一環として、交通安全自転車教室を実施しました。2時間の設定で、前半は実技講習です。校庭に白線で道路や横断歩道が作られ、信号機が設置されました。講師には我孫子警察署の方に来ていただきました。

道路標識や信号機のルールについて説明を聞いた後、自転車に乗って、校庭に作られた道路を一周しました。歩道と車道、どちらを通るかは自分で決めて進むルールです。子供たちは警察の方の説明をきちんと守り、信号機をよく見ながら運転をしました。後半は自転車の安全な乗り方について、動画を視聴しました。交通事故が起きた場面では、動画を止め、「どうして事故になってしまったのだろうか」「どうしたら事故を防げるだろうか」と考えました。事故の原因や未然防止について話し合い、考えながら動画視聴を進めていくことで深い学びとなっていました。

我孫子中学校区では、小学校6年間と中学校3年間の9年間を安全教育で繋ぐことができないか考えているところです。安全について考え、行動することは様々な活動において大切なことです。広い視野で安全について考え、行動できる人になって欲しいと思いました。



Abi-キャリア「くらしを支える仕事」

湖北台東小学校の4年生でAbi-キャリアとして「仕事を仲間分けするときどのような分け方があるだろうか。」を学習問題に授業が行われました。

「(自分たちが)関わる仕事」、「関わらない仕事」「なくなるとすぐに困る仕事」「すぐには困らない仕事」という座標軸に合わせ職業を打ち込んでいきます。タブレットを活用するとリアルタイムで班の仲間の意見が見えるため、それも参考にしながら自分の考えを表現していきます。同じ職業でも置かれる位置が違うことに驚いたり、お互いに意見を述べ合ったりするなど、授業が充実したものとなっていました。

座標軸で考えたことで「直接は関わらない&すぐには困らない仕事」のなかにも、本当になくなったら困る仕事があることに気がきました。先生から「役立ち方」という視点を入れて考えることも大切だという話がありました。

最後に、分類した部屋ごとに名前をつけました。「有名人の部屋」「人を楽しませる部屋」など、児童たちの目線で仕事の特徴をしっかりと捉えていることが伝わりました。仕事を多面的な目線で分析し、その特徴を新たな目線で捉えるために、お互いの意見を尊重し合うなど、児童が生き生きと取り組む素敵な授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより
第345号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふるさと だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

我孫子第一小学校の2年生で、Abi-ふるさとの一環として生活科の学習がありました。担任から、事前の町探検で調べてきたことをもとに「ぜひ、1年生に町のことを紹介してほしい」とお願いされたことから活動が始まりました。

『我孫子のひみつ発表会』とタイトルが決まり、学習計画を立てました。「いつどこで練習しようか?」「役割分担しないと」など、会に向けて必要なことを出しました。さらに「1年生に招待状を作ってあげよう」や「会場に飾りをつけてあげたい」など、おもてなしの気持ちが表れる意見も出てきました。子ども達を中心に活発に話し合い活動が進んでいきます。計画ができあがると、シナリオ作りです。町探検で調べたことから「1年生が思わず驚く町の秘密」を考えました。「学校の側の自転車屋さんは60年続いている」「学校の側のコンビニで1番売れている商品はトンカツ弁当」など、伝えたいことを熱心にまとめていました。



活動から新たなゴールが生まれ、そこに向かって進んでいくサイクルが見事に表れた授業でした。自分の住んでいる町が大好きになり、またお兄さんお姉さんとして後輩のために頑張りたい気持ちが溢れてくる素敵な授業でした。

Abi-キャリア『働く』とは?』

我孫子第四小学校の6年生で Abi-キャリアの授業が行われました。総合的な学習の時間に「働くとは?」という単元を設定し、9人の講師による職業人講話から学んだことを基に、仕事内容がどのように社会貢献やSDGsとつながっているのかを考えました。

先生から「仕事を通して行われている社会貢献について考えを深めよう!」と学習課題が示され、グループでの学び合いが始まりました。講話の際に記録したワークシートを手に、社会貢献やSDGsの17ある目標のうちどの目標とつながりが深いかについて、自分の考えを一生懸命に説明していきます。聞いている子ども達は、説明に納得をしたり新たな疑問を投げかけたり、疑問点についてタブレット端末を使用して調べたりしながら、全員が目的意識を持ち、積極的に学んでいる姿が印象的でした。



全体共有の場面では、「社会貢献」や「SDGs」という視点で物事をみると、つながりのないように見えた9つの職業にも似ている部分やつながりがあったことに気が付きました。

学習ファイルには、ここまでの積み重ねの足跡が感じられ、総合的な学習の時間を大切に、子ども達の思考力・判断力や主体的に学習に取り組む態度を育てている様子が強く感じられました。この実践を土台に、新たな視点でも小中学校が繋がっていく可能性を感じました。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第346号



我孫子市マスコットキャラクター
「手繪沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

我孫子第三小学校の2年生で Abi-ふるさとの一環として、生活科の単元「わたしたちの町はっけん」で、町探検で行った場所について友だちに伝える授業を展開しました。本時は、発表を通して自分たちの町にある魅力的な場所や人に気づき、自分の思いを伝えることをねらいとしています。施設等との渉外や当日の引率では、学校運営協議会での協議を経て、運営協議会委員や地域学校協働活動推進員の尽力により、学校と地域が協力した授業になりました。

授業が始まると、屋台方式でポスターセッションによる発表が行われました。発表5分間、それに対する質問と感想が3分間で時間を区切りローテーションをしました。発表者は、作成した資料を手に自分が調べたことを言いたくて仕方がないという様子で話していました。聞き手もどんどんと質問している姿が印象的でした。



全体共有では、「保育園は子どもを預かるだけでなく仕事をしている父母を助けていることがわかった」「郵便局の仕事は配達だけではないことがわかった」など高学年のキャリア教育で学ぶような質の高い意見に驚かされました。今後も地域の力を活用し、「地域に誇りをもち地域を愛する、そして地域の将来を担う人材の育成」が進むことを願っています。

Abi-キャリア「まちのキラリをあつめよう（町探検）」

我孫子第四小学校の2年生が生活科「わたしの町はっけん」の単元で Abi-キャリアの授業を行いました。町探検で発見した、身近な自然や働いている人々について学級の仲間に伝えることをねらいとしています。

町探検の感想を先生に聞かれると、「人生で一番楽しかった。」「いつもは入れないところや見られないところを見ることができて嬉しかった。」「他のグループが行ったところにも行ってみたい。」など、町探検に行った時のことを思い出しながら嬉しそうに答えていました。その後、見てきたことをお互いに伝え合いたいという意見から、発表会を行うことを決めました。黒板には「町たんけんで行ったところについて2年生で発表会をしよう」と目標が示され、探検した場所のすてきなところ（きらきら）を集め発表することにしました。ワークシートが配られ、探検先の設備や人気の商品など、児童一人ひとりがそれぞれの目線で気付いたきらきらを記入しました。ワークシートを書き終わると一緒に探検に行ったグループに分かれ、自分が見つけたきらきらを伝え合いました。



今後は、グループごとに発表の内容や方法を考え準備をしていきます。発表会でもたくさんのきらきらを共有し、笑顔あふれる学びの場になることが感じられる授業でした。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより
第347号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

「布佐中区三校合同レクリエーション～みんなで遊ぼう会～」

10月18日に布佐小学校、布佐南小学校、布佐中学校の小学校1年生から中学校3年生までの全ての児童生徒で「布佐中区三校合同レクリエーション～みんなで遊ぼう会」を実施しました。

学校間の枠組みを超えた3校合同レクリエーションを通して、児童や生徒間での会話や交流を深め、布佐中区の組織的な結束力を高めるとともに、今後の布佐中学校区小中一貫教育のより一層の充実を目指すことを目的としています。

どの学校にも3校の児童生徒が集まれるよう、それぞれの学校の児童生徒を割り振り、レクリエーションをしたり、給食を食べたりする活動を行いました。最初は各学校の体育館に集まり、全体で始めの会やレクリエーションを行いました。3校の児童生徒が「クイズ」や「木こりとリス」ゲームを通して、親睦を深めました。中学生が小学生をリードしたり、優しく声掛けしたりしながらレクリエーションに取り組んでいる姿がとても印象的でした。



その後は、6つのグループに分かれて教室でレクリエーションを行いました。「サイレントバースデーライン」や「ドキドキビンゴゲーム」を行いながら、さらに交流を深めました。レクリエーションの最後は、みんなで集合写真を撮りました。今日、出会ったばかりとは思えないような笑顔が溢れていました。

レクリエーションの後は、いよいよ給食です。一緒に給食が食べられるよう、3校の栄養士さんがメニューや配膳の量などを何度も相談してくれました。給食の班も3校の児童生徒が交流できるよう工夫しました。配膳当番の児童生徒もてきばきと動き、みんなでおいしい給食をいただきました。

今回の3校合同レクリエーションでは、どの活動も児童生徒が主体となって活動を行いました。みんなが生き生きと笑顔で活動することができ、どの児童生徒にとっても、とても有意義で実りある一日となりました。また、3校の先生方の結束力を高める活動にもなり、今後の布佐中学校区の小中一貫教育の、より一層の充実につながる一日となりました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第348号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗い沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「わたしたちの生活と食糧生産」

我孫子第四小学校の5年生社会科「わたしたちの生活と食糧生産」の単元で Abi-キャリアの授業が行われました。前時に我孫子市の米農家の方にお越しいただき、インタビューしたことを基に、資料から日本全体の米生産や消費について考えることをねらいとしています。

農家の方からの「365日休みなく働いている」「苗づくりには1カ月もかかる」「お米をたくさん食べてほしい」という願いを持っているという話を振り返り、その後、本時の内容である2つの資料を読み取りました。

一つは、「米の生産量と消費量の推移」、もう一つは「農業従事者数の推移」です。グラフから大きな変化や特徴だけでなく、年数ごとの変化や割合にも注目し授業が進んでいきました。



「米の生産量と消費量が減少している理由に、食生活の変化と農家の減少」が関わっていることに気付くと、「このままでよいのかな」「もっと米って美味しいんだ。農業って面白いんだ。ということのアピールしてはどうか」と、社会の課題を身近に感じ、自分事として捉える様子が見られました。学びのなかから次の課題を見出し、自ら考える姿が素敵な授業でした。どのようにお米のよさをアピールするのか、単元のまとめが楽しみになりました。

Abi-キャリア「認知症サポーター養成講座を受けよう」

我孫子北地区高齢者なんでも相談室の方による「認知症サポーター養成講座」を、並木小6年生が受講しました。前の時間に高齢者疑似体験を行い、高齢者の大変さを知った上での受講でした。

まず認知症について学び、具体的な対応を確認しました。次に寸劇で、何度も同じことを聞かれた時の対応を考えました。「何度も何度も聞かないでよ！」と怒る様子に「言い方が強い。」「冷たい。」「かわいそう。」などの声が上がりました。「どう接したいですか？」と聞かれると、「相手の立場になってイライラしない。」「何回も答える。」「大人に相談する。」などの意見が出ました。認知症役の方は「優しくしてもらおうとありがたい。穏やかになる。」とおっしゃっていました。



最後に、様々な場面から認知症の方の気持ちを想像しました。家に帰る道や家族・友達の顔が分からなくなったらと考えると、心細く怖い気持ちが理解できました。また、笑顔や安心した気持ちで過ごす症状の悪化を防いだり、進行を遅らせたりすることも教えてもらいました。接するときのポイントは「①驚かせない②急がせない③心を傷つけない」だそうです。

講座を受けた「修了証」を手渡された子ども達は、今日から温かい目で見守る「認知症サポーター」として、優しい心で高齢者、認知症の方と接していってほしいと思います。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月8日

我孫子市小中一貫教育だより

第349号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「気象学の父・岡田武松」

布佐小学校の6年生でAbi-ふるさと「岡田武松」の授業が行われました。布佐中学校区では、布佐カリキュラムのなかで布佐出身の岡田武松についても特に重要な先人の一人として学習しているため、子ども達はすぐに「天気の人だ！」と、声を上げていました。

本時は、ふさの風まちづくり協議会・岡田博士研究部の前田さん、松島さんをお招きし、岡田武松の功績や布佐との関わり、生涯について詳しく教えていただきます。

気象学を志した理由について、「幼いころに布佐で経験した水害」がきっかけになっていること、天気予報が正確にできるようになることで、「海難事故をなくすため」「戦争で有利になるため」だけでなく、農業など様々な産業の発展にもつながっていることを知り、「私達の生活にも関係のあることを研究したんだ」と、理解を深めました。岡田武松の家が布佐に寄贈され、現在の「近隣センターふさの風」になっていることから、岡田武松の功績を布佐の人々も大切にしていることがわかりました。晩年は、子どもたちのために岡田文庫をつくるなど、教育にも熱心であった岡田武松。

「先輩にすごい人がいてびっくりした」「気象の研究だけでなく、布佐のことを思って行動してくれていて素晴らしい人だと感じた」と、授業をふり返る子どもたちの目は輝いていました。



Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

新木小学校の2年生でAbi-ふるさとの授業が行われました。町探検を通して見つけた、新木地区のよさに気がつき、それを色々な人に紹介することを単元のゴールに定めています。

本時は、町探検で様々な人にインタビューして見つけた「すてき」を振り返り、発表の仕方を考えることが目的です。学習課題「町のすてきをはっぴょうするじゅんびをしよう」が先生から提示され、グループごとにインタビューで見つけた「すてき」を確認しました。

発表内容を絞るのが大変そうなので多くの意見が出ました。次に、発表方法の相談をしました。「タブレットで写真を見せながら説明する」「クイズにして、みんなにも考えてもらいながら聞いてもらう」「インタビューしたことを劇にして、わかりやすく伝える」など、たくさんのアイデアが出されました。

郵便局の人、警察官、お店の人などに聞いた内容から、「すてき」だと感じたことを発表できるよう、次の時間から準備していくそうです。クラスの仲間や学年の仲間、先生方、保護者にも伝えたいという思いを子どもたちが持っており、どんな発表になるのか楽しみです。

地域のことを知るだけでなく、伝えるを通して、さらに地域のよさに気づき、ふるさとを大切しようとする心が育つ「すてき」な授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第350号



我孫子市マスコットキャラクター
「手舞沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「職業人講話」

久寺家中学校の1年生で Abi-キャリア「職業人講話」の授業が行われました。久寺家中学校では、1・2年生で職業調べを行い、学習する意味や自分の適性について考えることで、3年生への進路学習へとつなげています。今日は、千葉県の建設業について学び、生徒自身の職業観を深めていくことが目的です。

我孫子市にある上村建設工業（株）と柏市にある会田電業（株）という、地域にある会社の方を講師に招き話を聞きました。建設業とはという内容と現場監督、空調衛生工事、とび職人、電気工事、造園工事の5種類の仕事内容について詳しく学びました。写真や動画を見ながら、幼稚園や小学校、水の館など自分たちの身近にある施設がどのように建設されたのか説明してもらいました。また、5つの職業の特徴、必要な技術や資格について話を聞き、仕事にもそれぞれの個性や異なるやりがいが存在することを理解しました。質疑応答では、中学校で学んでいる教科に関する学習や人と関わるためのコミュニケーション能力、美術的な感性などが仕事につながっていくことを改めて感じる時間となりました。

自分自身の個性が、将来どのように活かされていくのか、自分の興味のある職業にはどのような資格や能力が必要なのか真剣に考え、今の生き方を見つめるきっかけとなる授業でした。



Abi-キャリア つながる 広がる 支え合う「昔遊びをしよう」

並木小学校の1年生で Abi-キャリアの授業が行われました。社会福祉協議会と連携し、中学校区オリジナルカリキュラムである福祉に関する授業として「つながる 広がる 支え合う」をテーマに「昔遊びをしよう！」という題材での出前授業を実施しました。

体育館には、児童約50名と40名を超えるボランティアスタッフが集いました。児童の進行で始めの会を行いました。7つのブースについて説明を聞き、一番興味のあるブースから昔遊び体験がスタートです。約1時間、児童は自分の興味関心に沿って自由に移動し、夢中になって遊びました。全力で体を動かす子、できることを教えて得意気な子、誉められ嬉しそうなお子。スタッフのみなさんも、そんな子ども達と一緒に童心に戻り、生き生きとした表情でした。



終わり会では、児童代表の感想発表と全員からお礼の挨拶と歌のプレゼントがありました。大きな声で一斉懸命歌う様子にスタッフのみなさんも一緒に拍子をとったり、「かわいいねー。」と呟いたりしていました。

授業を通し楽しい体験だけでなく、お互いに顔を知り新しい関係を築きコミュニケーションをとることで社会性を育んだり、誉められ自己肯定感を高めたりすることができました。地域のみなさんに喜んでもらうという地域貢献としても意味を持つ授業でした。



T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第351号



我孫子市マスケットキャラクター
「手洗沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「はじめての谷津」

湖北台西小学校1年生の生活科で Abi-ふるさとの授業が行われました。湖北台西小学校では、谷津ミュージアムの植物や生き物に触れたり、5年生でお米を育て収穫後に給食として全校で食したりする取り組みを通し、ふるさと我孫子を愛する心を育成しています。

1年生のはじめての谷津との出会いは、我孫子市役所手賀沼課と自然保全ボランティアの方の協力を得て、谷津ミュージアム（我孫子市都部の里山エリア）を散策しました。



今日の目標は、地域の自然環境に親しみながら、生き物や植物を観察し秋の季節を感じることです。散策中は、植物や昆虫、動物などについてボランティアの方の説明を聞きながら実物を観察することができました。

生活科「あきを見つけよう」の学習をしながら、学区内の身近な自然を満喫しました。身近に豊かな自然があることを知り、また来たい、もっと見てみたいと親しみや関心を深めることができました。

Abi-ふるさと「わたしの町はっけん」

布佐小学校の2年生生活科「わたしたちの町はっけん」で Abi-ふるさとの授業が展開されました。先日グループごとに布佐の町の探検に行き、それぞれ好きな場所を二か所ずつ探検してきました。今日は、町探検に行ったときに「聞いたこと」「見たこと」「気づいたこと」をグループ内で共有し発表の準備を行います。

最初に、各自ふせんに町探検に行った2か所について、「聞いたこと」「見たこと」「気づいたこと」を書きました。書いたふせんは、グループのワークシートに貼っていきました。グループのみんなで書いたふせんを共有しながら、「そうだね。」「ほかにもあるかな。」等、共感や新たな発見をしていきます。ワークシートいっぱいふせんを貼り、時間ぎりぎりまで、意欲的に学習に取り組む姿が印象的でした。

その後、グループでたくさん意見が出たふせんを整理しました。どの内容について発表しようか、グループのみんなで話し合いを行いました。

布佐の町を探検し、新しい発見や気づきをみんなで共有することで、より布佐の町に愛着を持ち、もっと布佐の事を知りたいという思いが深まりました。





T S U N A G U

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和6年11月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第352号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ たしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「夢の扉プロジェクト」

湖北台東小学校の6年生総合的な学習の時間「夢の扉プロジェクト」で Abi-キャリアの授業が展開されました。我孫子市内や柏市で「イラストレーター」「鍼灸師」「ラーメン職人」「農家」の仕事をしている方を講師に招き、4つの職業について学びました。

授業は、1つの教室に6年生が集まり、学年全員で1人1人の講師の先生からお話を伺う形で行いました。仕事で使用する道具を触らせてもらったり、施術の様子を間近に見せてもらったりもしました。そのなかで、「地道な作業を楽しいに変えるコツ」や「すきを見失わないことの大切さ」、専門的な知識の奥深さと面白さを知ることができました。



また、農家の方からは、我孫子市の農業界が抱える課題とそれに対する取り組みについても教えていただきました。児童からは、「夢の叶え方が印象に残った。」「当たり前だと思っていたことを一生懸命やるのが大切だと分かった。」などの感想がありました。

直接話を伺い、疑問に思ったことをその場で質問し、対話をしたことでそれぞれの職業についての理解を深め、自己実現とのつながりを考えるきっかけになる授業でした。

Abi-ふるさと「嘉納 治五郎」

湖北小学校の5年生総合的な学習の時間に Abi-ふるさとの授業が展開されました。今日の授業のめあては、嘉納治五郎について知り、自分と関連付けて考えることです。

初めに、治五郎について知るため「柔道」「オリンピック」「我孫子」という3つの視点から嘉納治五郎の人物像をまとめました。ひ弱で怒りっぽい性格だった治五郎が柔道と出会い変わっていった姿には「努力」「成長」「あきらめない」、オリンピックを東京によんだり、我孫子に文人たちをよんだりした様子には、「積み重ね」「行動力」などの言葉がキーワードとして挙がりました。また、我孫子第一小学校に自筆の書を贈ったことを知ると「人とのつながり」や「言葉」を大切にしたい人と嘉納治五郎について理解していきました。キーワードに挙げた言葉を基に自分との関連を考える場面では、自分だけでなく学級の友達の姿とも結び付け、考えを深める様子が見られました。最後に考えたことを全体で発表し、それぞれの思いを共有しました。

先人の生き方を自分と関連付けて考えることができたのは、担任の先生が既存のワークシートを児童の実態に合わせて工夫し、授業を大切にしてくれたことが大きいと思います。先生の思いと児童の学びがしっかりとつながった授業でした。

